

## 地域計画

策定年月日	令和 8 年 3 月 31 日
更新年月日	令和 年 月 日 ( )
目標年度	令和 17 年度
市町村名 (市町村コード)	丹波市 ( 28223 )
地域名 (地域内農業集落名)	青垣町稲土 ( 日向 )

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

### 1 地域における農業の将来の在り方

#### (1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	6.9 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	6.3 ha
② 田の面積	6.4 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	0.5 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	1.0 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	0.0 ha
(参考) 区域内における〇〇才以上の農業者の農地面積の合計	— ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	— ha
(備考)	

- 注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。  
 2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。  
 3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。  
 4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。  
 5:(参考)の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。  
 6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

#### (2) 地域農業の現状及び課題

- ・農業従事者は高齢化し、後継者・担い手不足が発生している。
- ・農業機械が古くなり、現在の耕作者の中でも更新する余裕のない者がいる。
- ・基盤整備田の遊休農地化が発生してきている。
- ・鳥獣害が多く、防護柵の点検・補修を地域全体で年2回実施しているうえ、個人でも防護柵等を設置している。
- ・地域住民の農業や農地の維持管理に対する関心が低下している。
- ・自己保全の草刈り等も高齢化により難しくなっており、地域全体で農地を利用していく仕組みの構築が課題である。

#### (3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

	<b>【該当項目にチェック】</b>
<input type="checkbox"/> ①当地区は水稻を主に、農地の集積・集約化を進める。	
<input checked="" type="checkbox"/> ②当地区は水稻を主に、特産の丹波大納言小豆、黒大豆等を拡大し、農地の集積・集約化を進める。	
<input type="checkbox"/> ③地区内外の認定農業者・集落営農組織等に農地の集積・集約化を進める。	
<input type="checkbox"/> ④新規就農者を積極的に受け入れる体制作りを進める。	
<input type="checkbox"/> ⑤農作業の効率化を図るため、スマート農業の導入を進める。	
<input type="checkbox"/> ⑥施設、果樹等の高収益作物の導入を進める。	
<input type="checkbox"/> ⑦農業を担う者が耕作し易くするために、集落や地権者が畦畔の草刈りや水管理などを行う仕組みを構築する。	
<input checked="" type="checkbox"/> ⑧農地の効率的かつ総合的な利用を図るため貸借相談等を行う部署を設ける。	
<input type="checkbox"/> ⑨多面的機能が維持できる農地管理を行う。(放棄田発生防止)	
<input type="checkbox"/> ⑩その他( )	

## 2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
【該当事項にチェック】			
<input checked="" type="checkbox"/>	①農地バンクへの貸付けを進めつつ、担い手(認定農業者、集落営農法人、農業法人)への農地の集積・集約化を図る。		
<input type="checkbox"/>	②担い手以外の農業を担う者にも地域のバランスを考えながら農地利用を進める		
<input type="checkbox"/>	③その他( )		
(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	3 %	将来の目標とする集積率	41 %
(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標			
【該当事項にチェック】			
<input checked="" type="checkbox"/>	①団地数の減少および団地面積の拡大を進める。(令和17年度)		
<input type="checkbox"/>	②その他( )		

## 3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1) 農用地の集積、集団化の取組			
【該当事項にチェック】			
<input checked="" type="checkbox"/>	①農地中間管理機構(農地バンク)を活用して、認定農業者や新規就農者等(担い手)を中心に集積・集約化を進める。		
<input type="checkbox"/>	②その他( )		
(2) 農地中間管理機構の活用方法			
【該当事項にチェック】			
<input checked="" type="checkbox"/>	①農地中間管理機構を活用して、担い手等の経営意向をくみ取り、段階的に集積・集約化を進める。		
<input type="checkbox"/>	②その他( )		
(3) 基盤整備事業への取組			
【該当事項にチェック】			
<input type="checkbox"/>	①地域のニーズを踏まえ、農地管理の効率化を図るためパイプライン等の基盤整備事業を進める。		
<input type="checkbox"/>	②担い手のニーズを踏まえ、農地中間管理機構関連農地整備事業を活用し、農用地の大区画化・汎用化等のための基盤整備を( )年度までに実施する。		
<input checked="" type="checkbox"/>	③現在、基盤整備事業は考えていない。		
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組			
【該当事項にチェック】			
<input type="checkbox"/>	①関係機関と連携し、地域内外から多様な経営体を募集する。		
<input checked="" type="checkbox"/>	②農地の貸し借り、斡旋等を行う部署を設け、担い手の支援に努める。		
<input type="checkbox"/>	③その他( )		
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組			
【該当事項にチェック】			
<input type="checkbox"/>	①設備投資を抑えるため、地区内の農業者や営農組織に依頼する。		
<input type="checkbox"/>	②必要に応じて、農業支援サービス事業者の利用を検討する。		
<input checked="" type="checkbox"/>	③その他(水稻栽培に関しては設備投資を抑えるため、地区内の個人経営者に依頼している。)		

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

<input checked="" type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④畑地化・輸出等	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨耕畜連携等	<input type="checkbox"/> ⑩その他

【選択した上記の取組内容】

- ①防護柵、箱罟の補強・増設を多面的機能支払交付金を活用し実施していく。  
 ⑦農地の保全・管理についても多面的機能支払交付金を活用し実施していく。



## 4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 17 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託 面積	経営作目等	経営面積	作業受託 面積	目標地図 上の表示	備考
1	利用者	水稲ほか	0.86 ha	ha	水稲ほか	0.86 ha	ha	1	
2	利用者	ソルガム(地力) ほか	0.81 ha	ha	ソルガム(地力) ほか	0.81 ha	ha	2	
3	利用者	その他作物	0.48 ha	ha	検討中	0.48 ha	ha	3	
4	利用者	水稲ほか	0.44 ha	ha	水稲ほか	0.44 ha	ha	4	
5	利用者	水稲ほか	0.4 ha	ha	水稲ほか	0.4 ha	ha	5	
6	利用者	水稲・うめほか	0.38 ha	ha	水稲・うめほか	0.38 ha	ha	6	
7	利用者	水稲ほか	0.33 ha	ha	水稲ほか	0.33 ha	ha	7	
8	利用者	くり・ソルガム (地力)ほか	0.28 ha	ha	くり・ソルガム (地力)ほか	0.28 ha	ha	8	
9	利用者	水稲ほか	0.28 ha	ha	水稲ほか	0.28 ha	ha	9	
10	利用者	水稲ほか	0.27 ha	ha	水稲ほか	0.27 ha	ha	10	
11	利用者	その他作物	0.26 ha	ha	検討中	0.26 ha	ha	11	
12	利用者	水稲ほか	0.24 ha	ha	水稲ほか	0.24 ha	ha	12	
13	利用者	水稲ほか	0.21 ha	ha	水稲ほか	0.21 ha	ha	13	
14	利用者	水稲ほか	0.2 ha	ha	水稲ほか	0.2 ha	ha	14	
15	利用者	水稲ほか	0.18 ha	ha	水稲ほか	0.18 ha	ha	15	
16	認農	水稲ほか	0.17 ha	ha	水稲ほか	0.17 ha	ha	16	

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

稲土  
日向

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 17 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託 面積	経営作目等	経営面積	作業受託 面積	目標地図 上の表示	備考
17	利用者	水稲ほか	0.17 ha	ha	水稲ほか	0.17 ha	ha	17	
18	利用者	水稲ほか	0.16 ha	ha	水稲ほか	0.16 ha	ha	18	
19	利用者	水稲ほか	0.08 ha	ha	水稲ほか	0.08 ha	ha	19	
20	利用者	その他作物	0.04 ha	ha	検討中	0.04 ha	ha	20	
合計			6.24 ha	ha		6.24 ha	ha	0	

